

(様式3)

## 自己評価結果票 (フルーツ ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1.理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会においてその人らしく生活が営むことが出来る様に理念に掲げている	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所内に理念及び姫路独自の目標を掲げて、朝礼時に皆で唱和している	新人職員に対し、理念及び目標の説明を行い、共有できる様にしている
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議を行い、理解して頂く場を持っている	定期的に行い、より多くお方に、より深く理解して頂く様、継続していきたい
<b>2.地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々挨拶を交わしたり、行事には声をかけさせて頂いている また、利用者が散歩等をしている時には、声をかけて頂いている	声をかけさせて頂いたりチラシでお誘いするように心掛けている
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	船場小学校の音楽会に招待頂いたり、4年生の総合学習の一環としての交流の機会がある。 琴陵中学校、2年生時のトライやるウィークでの実習協力、並びに婦人会、各種ボランティアの方がたくさん来所下さり、利用者も楽しみにしている	今後も継続して地域の行事に参加していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方々には気軽に挨拶を交わしている		グループホームの行事に気軽に参加して頂けるよう、広報活動をしていきたい
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の改善点、注意点を把握して、緊急時の対応や個別ケアについて学び家族にも連絡、説明を行っている		全職員が評価内容を把握して、個別ケアを行えるように努力する
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現況報告させて頂き、改善に向けた話し合いを行い協力をお願いしている		積極的な開催を行う様に、近隣自治会、関係各位、家族会への協力を依頼する
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からの案内による研修や勉強会への参加(サービス向上の為に問い合わせなど)		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度については学ぶ機会がなく、職員で理解している人は少ない		早々に勉強会を行いたい 知識の向上をはかりたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の体調、状態把握に努めている		職員の知識、意識の向上を図りたい 職員間のコミュニケーションを密にとりたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書に基づいて説明を行い、家族の質問には十分な説明を行っている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の訴えには、十分な時間をもって傾聴し、その内容は事業所内で共有している</p>	<p>言葉にされない意見にも気を配っていきたい</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>介護記録、出納帳を見て頂き、捺印頂いている また、月一度、キーパーソンの家族宛に近況手紙と写真を送り、暮らしぶりを報告している</p>	<p>連絡を密にとり、信頼関係を深めていきたい</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱の設置、家族会での報告、意見交換等を出し合っている</p>	<p>信頼関係を深める事で意見を言って頂きやすい環境を作りたい</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議、ユニット会議を各月一度行い、意見を出し合っている</p>	<p>職員が自由に意見交換できる様に配慮していきたい</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務調整、業務調整に柔軟な対応を行っている</p>	<p>利用者、家族のニーズに応じる様、努めている</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	代わる事があった場合、他の馴染みのある職員がフォローを行い、安心を図るように努めている		人材の確保に努めていく
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	会社内、外での研修参加に努めると共に、全体会議での勉強会を行っている		全職員が研修参加出来るようにしていきたい
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	姫路市グループホーム連絡会設立され地域の同業者との交流や勉強会に参加し、サービスの向上に取り組んでいる 管理者は同業者の施設の訪問等により、よりよい施設作りに心掛けている		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	会社内に悩み相談、フリーダイヤルが設置されている		職員間のコミュニケーション作りを活発化し、ストレスを溜め込まない環境作りに配慮する
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	個人の能力に応じた努力を評価している		意見の交換会・勉強会を開き、向上心をもって仕事出来る様努めたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	本人の希望や意思を受け止め、能力の情報収集にも努めている	利用者が少しでも安心して話す事のできる雰囲気作りに努めたい
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	家族の希望に応じ、想いを受け止める事ができるように何度も話し合いをする機会を作っている	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所申し込み事前に利用者に会い、家族同伴で事前面接を行うことにしている 個別に対応する時間を多く持ったり、他の利用者と良好な関係が築けるように努めている	利用者の情報を共有し、話し合えるように連携を保っていきたい
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者の生活歴より様々な事を教えて頂く場面作りを行い、力を発揮して頂くように努めている	教わる場面作りを行うように努めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>介護記録の開示や介護計画書などにより情報共有を行い、毎月キーパーソン宛に利用者の近況を報告する手紙や写真を送っている</p>		<p>状態の変化等があった場合にでも信頼により相談出来る関係を築いていきたい</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>入所時に、利用者と家族の関係にも目を向いたアセスメントを行い、利用者、家族共に普通の会話の中からお互いの思いを察するように努めている</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>近所の方や友人が気軽に面会に来て頂けるような施設の雰囲気作りや職員の対応を心掛けている</p>		<p>これまでの友人関係が継続されるように支援していきたい</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>皆で楽しんで頂けるようなレクリエーションの実施や利用者間に介入して対人関係が良好に保たれるよう調節している</p>		<p>共通の趣味等を通じて楽しい時間を共有できるよう援助したい</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個別の関わりや生活の中で発見したニーズは実現されるよう、話し合う場をもっている</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族に生活歴を聞き取り、把握するようにしている</p> <p>職員は情報を共有できるようにしている</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>本人の残存機能を活かし、現在出来る事を手伝って頂いたり、趣味を活かす等望まれる生活が送れるように支援している</p>	<p>利用者が“その人らしい”生活となるよう、支援していく</p>
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の思いなどを介護計画に取り入れている</p> <p>また、利用者の残存機能を見つけ出し、それが行えるように援助し介護計画を作成している</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態の変化においては見直しを行い、家族、職員との話し合いにおいて新たな介護計画を作成している</p>	<p>見直しをして、ニーズの変化をみつけられるようにする</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りで伝達し、連絡ノートの記入により、職員間で共有する		申し送りが正確に行われるよう伝達方法に工夫を加えていきたい
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の機能(通所介護)を最大限に活用しニーズに応じた支援を行っている		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の婦人会の慰問、ボランティアの受け入れ、消防訓練など介護に生かしている		
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループに入居されているため、他のサービスを利用するための支援を行ってない		
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は関わりはないが通所介護と関わりがあるので運営推進委員会の参加を依頼し了承を得ている		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族ともに納得のできる意向に添った適切な医療を受けることが出来るよう、関係機関の連携を保っている		家族に受診内容を報告し、何かがあれば意向を聞くようにしている
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	現在、専門医を受診されている方が1名おられ、家族が同行しておられる 受診内容を把握するために家族との話し合いの場をもつようにしている		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	24時間対応を行い、利用者の身体症状の変化や急変に対応し、医療との連携を実施している		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病状について病院側と情報交換を行い、職員が随時面会に行き身のまわりの世話をさせて頂くことで安心して過ごせるよう援助を行っている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	身体変化に応じて主治医との話し合う場を持っている		ターミナルケアについての意向等を家族と話し合う機会を作りたい
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医との連携はとれている また、会議等の場で勉強会を行い、知識や情報を共有している		ターミナルケアについての研修の参加等、知識の習得を積極的に行いたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>利用者の心身の負担が最小限となるよう、家族との話し合いを重ねている</p>		
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>礼儀をわきまえた言動を心掛けている また、個人情報の取扱いに関する同意書を交わし、プライバシーの確保に努めている</p>		<p>礼儀をわきまえ、言動には十分注意を払う</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者との関わりを最優先し、どのような訴えも本人が納得されるまで傾聴、声かけを行っている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のあるがままを受け止めるよう心掛けており希望に応じた援助を行っている</p>		<p>穏やかに過ごして頂けるよう利用者の意向を大切にしたい</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>衣服の選択は利用者にして頂き、必要に応じて手伝うようにしている 訪問理容を利用しているがそれ以外でもパーマやカット等本人の希望店に送迎して対応している</p>		<p>おしゃれを楽しむことができたりそれを通じてその人らしさを引き出すことが出来るように支援したい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	体調、気分により負担にならないような声かけをして、一緒に行える様にしている		その方に応じた事をして頂き時間を共有していきたい
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の好みを把握し、会話の中にも取り入れて、楽しんで頂けるようにしている		利用者の希望を取り入れて一緒に作っていきたい
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表により排泄パターンをつかみ、声かけ誘導を行っている		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や時間帯は決まっているが、体調・気分に合わせて柔軟な対応を行っている 個別入浴を行っており、浴槽の湯は随時交換し、気持ち良く入浴して頂いている		職員が決めた入浴日や時間帯ではなくその人のいままでの生活や好みに合わせた入浴をして頂けるようにしたい
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間安心して休んで頂けるように、声かけ・見守りを行っている また日中の活動にも配慮し、生活のリズムが保たれる様支援している		年齢体調に合せた対応をしていく
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の能力を見極め、レベルに合せた生活が送れるようにしている		能力を生かして維持していけるようにする


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者、家族の希望に応じ所持されている管理能力について家族に説明し理解して頂いている		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候体調等により戸外に出かけるようにしている		買物、散歩など積極的に取り組む
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を感じて頂くようにプランをたてて外出している		外出の機会を増やしたい
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかかってくる場合は取り次ぎ、連絡を入れて欲しい場合はその都度対応している 年賀状、暑中見舞い等も家族に出している 毎月一回、家族宛の近況報告(写真も添えて)もしている		毎月の報告書をなるべく利用者を書いてもらえるよう支援していきたい
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来所時は、お茶等をお出しして、また空間提供に配慮して楽しく過ごせるように工夫している		信頼関係が良好になるようにしたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない介護を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	グループホーム玄関は電気錠で対応しているが、交通量の多い道路に面しており家族にも契約時説明し理解して頂いている		居室の錠をかけられる利用者がおられるが、プライバシーに配慮した対応を行っていきたい
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間の連携を保ちながら利用者の位置の様子を把握している		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	臨機応変に個々に応じた対応が出来ている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態の変化を把握しすぐ対応出来る様にしている また事故防止の為にヒヤリハット作成等を行っている		事故報告書を記入し、今後どのように対応するかについて検討しているが、更に細心の注意を払って利用者対応出来るよう職員の意識付けを図る
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生時、バイタル測定、呼名反応の有無、痛感有無等の手当てが行えるようにしている		救急講習は職員が順番に受講しているが、現段階では全員が対応できないので定期的に訓練を行っていききたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を実施している スプリンクラーの設置も完備されていて、消火器使用訓練も行っている		職員全体周知出来ているか確認することと、緊張感をもっておきたい 自主訓練を行っていききたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	高齢による病気、転倒等の事故の可能性は家族に説明できている また受診時、主治医からの所見は知らせている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期往診時の変調や体調変化があった時は速やかに家族に連絡している 看護師 主治医 受診		体調が落ち着かれた場合も、様子を家族に伝えている
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の病気を理解し、内服の情報も薬剤師より説明を受けて管理出来ている 用法や用量も理解出来、服薬の確認も実施している		状態観察を行っていきたい
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表により排便の有無を見ることが出来食事、水分にて工夫したり、うめぼし体操やレクリエーションで行うリハビリ体操、また歩行訓練等してもらえるように支援している		排便管理を正確にしていきたい
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後、声かけを行い口腔ケアを実施している 夜間は義歯洗浄を行っている		家族、利用者の理解を得た上で歯科の定期的な受診を勧めていきたい
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェック表を作成し利用者の食べやすい形状にして提供したり水分補給を気をつけて実施する		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルはいつでも職員が閲覧できるようにしている また全体会議等の場で看護師による勉強会も実施している		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日届き、日付記入管理はもちろん実施している また布巾の煮沸消毒等実施して衛生管理を行っている		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花を植え、誰でもみれるように道路側に設置している		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンの開閉やテレビの音量調節は利用者によって率先して行われている 作品の展示、フラワーアレンジメント実施により季節感を取り入れている		居心地のいい空間作りをする
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや一人掛けの椅子を設置したり、思い思いに過ごして頂いている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時より馴染みの家具等を持ち込みをして頂きその人らしい居室になるようにして頂いている		体調、状況の変化にも対応出来るようにして頂きたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓の開閉をし、空気の入れ替えや室温調節を行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	クッション材を使用した床、手すりが設置されて安全に生活ができるよう工夫されている		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の能力を見極め、張りの持てる生活が送れるように支援している 出来ることはできるだけ自分でして頂いている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節の花を植え、共に育てる楽しみを感じて頂いたり建物の外にベンチを置いて外気浴をしたりしている		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



.サービスの成果に関する項目 (フルーツ ユニット)		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・生活のリズムに無理がなく、通所もあるのでボランティアの導入等で生活に変化がある
- ・誕生日は個々にその当日行き、プレゼント、ケーキを召上って頂き、喜びを共有している
- ・毎朝独自の体操(うめぼし体操)を行っている
- ・お一人、お一人の話を傾聴し、それぞれのペースで生活して頂いている
- ・健康管理について家族に密に連絡している
- ・月一回、担当職員が家族に最新の写真を添えて近況報告のおたよりを出している